

主の食卓に招かれた人は幸い



ミサ聖祭の式次第

ミサ聖祭

『イエスは彼らに言われた、「わたしは苦しみを受ける前に、あなたがたとこの過越の食事をしようと、切に望んでいた。』』

ルカ 22:15

ミサ聖祭は、カトリック教会において行われる最も聖なる祭儀です。この祭儀は、主イエス・キリストの最後の晩餐に由来しています。イエス・キリストは十字架に付けられる前の夜に行われた食事のとき、パンとぶどう酒の杯を取り、感謝の祈りをささげてから弟子に与えて、「これは、あなたがたのために渡されるわたしのからだである。これは、わたしの血の杯、あなたがたと多くの人のために流されて、罪のゆるしとなる新しい永遠の契約の血である。これをわたしの記念として行いなさい。」と言われました。これによって主イエスは、ご自分をささげられると同時に、ご自分の受難と死を予告され、その意義を説明されました。その時以来、キリストの教会は主イエスのことばに従って、救いをもたらしたキリストの死と復活を想起しながら、最後の晩餐の式を繰り返し、キリストの愛の奉献(聖なるいけにえ)を記念することによって、それを再現しています。

信者はミサの間に、神のことばである聖書の朗読を聴き、この二千年前と同じ食卓にあずかり、キリストのからだである聖別されたパン(ご聖体)を拝領します。こうして、キリストの死と復活の記念であるこの祭儀に参加することによって、私たちを最後まで愛し、私たちのために御自分の命をささげてくださった主イエスに心を合わせ、愛の交わりをもちます。

ミサ聖祭を祝うことによって、私たちは、神が与えてくださったすべての賜物、とくに創造、あがない、聖化に感謝します。それで、ミサは、「感謝の祭儀」とも呼ばれています。

ミサに参加することによって私たちは、神に感謝と賛美をささげ、キリストと共に自分自身を奉献して、神との完全な一致を目指します。そのため、ミサは神に対する真の愛の実践と真の礼拝なのです。

「私たちの救い主は、渡されたその夜、最後の晩さんの時に、ご自分のからだと血によるエウカリスチアのいけにえを制定された。それは、十字架のいけにえをご自分の再臨まで世々に永続させるためであった。これによって、主は愛する花嫁である教会にご自分の死と復活の記念を託された。この記念は、いつくしみの秘跡、一致のしるし、愛のきずなであり、『キリストが食され、心は恩恵に満たされ、将来の栄光の先取りが与えられる』過ぎ越しの祝宴である。」(典礼憲章47)

祭 開

◆ 入祭の歌と行列

☆（会衆起立）

◆ あいさつ

司祭 父と子と聖霊のみ名によって。

会衆 **アーメン。**

司祭 主イエス・キリストの恵み、神の愛、
聖霊の交わりが皆さんとともに。

会衆 **また あなたとともに。**

◆ 回心の祈り（第一形式）

司祭 皆さん、聖なる祭儀を行う前に、
わたしたちの罪を認め、ゆるしを願いましょう。
(短い沈黙のひとときをとる)

司祭 全能の神と、

会衆 **兄弟姉妹の皆さんに告白します。**

**わたしは、思い、ことば、行い、怠りによって
たびたび罪を犯しました。**

聖母マリア、すべての天使と聖人、

そして兄弟姉妹の皆さん、

罪深いわたしのために神に祈ってください。

司祭 全能の神、いつくしみ深い父が
わたしたちの罪をゆるし、
永遠のいのちに導いてくださいますように。

会衆 **アーメン。**

◆ いつくしみの賛歌（キリエ）

先唱 主よ、いつくしみを。

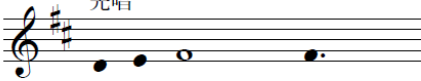
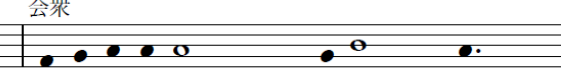
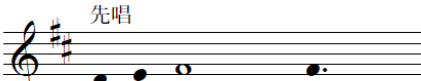
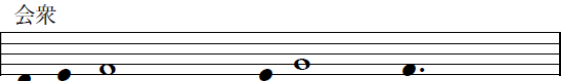
会衆 **主よ、いつくしみをわたしたちに。**

先唱 キリスト、いつくしみを。

会衆 **キリスト、いつくしみをわたしたちに。**

先唱 主よ、いつくしみを。

会衆 **主よ、いつくしみをわたしたちに。**

先唱  主 よ、いつくしみを。	会衆  主 よ、いつくしみを わ たしたち に。
先唱  キ リ ス ト、いつくしみを。	会衆  キ リ ス ト いつくしみを わ たしたち に。
先唱  主 よ、いつくしみを。	会衆  主 よ、いつくしみを わ たしたち に。

◆ 回心の祈り（第二形式）

- 司祭** 皆さん、聖なる祭儀を行う前に、
わたしたちの罪を認め、ゆるしを願ひましょう。
(短い沈黙のひとつときをとる)
- 司祭** 打ち砕かれた心をいやすために遣わされた主よ、
いつくしみを。
- 会衆** **主よ、いつくしみをわたしたちに。**
- 司祭** 罪びとを招くために来られたキリスト、いつくしみを。
- 会衆** **キリスト、いつくしみをわたしたちに。**
- 司祭** 父の右の座にあって、わたしたちのために
とりなしてくださる主よ、いつくしみを。
- 会衆** **主よ、いつくしみをわたしたちに。**
- 司祭** 全能の神、いつくしみ深い父が
わたしたちの罪をゆるし、
永遠のいのちに導いてくださいますように。
- 会衆** **アーメン。**

◆ 栄光の賛歌（グロリア）

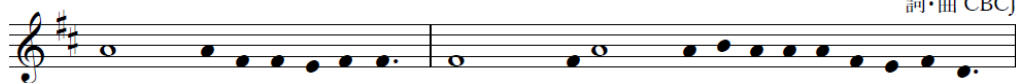
司祭 天には神に栄光、
 会衆 地にはみ心にかなう人に平和。
 神なる主、天の王、全能の父なる神よ。
 わたしたちは主をほめ、主をたたえ、
 主を拝み、主をあがめ、
 主の大いなる栄光のゆえに 感謝をささげます。
 主なる御ひとり子イエス・キリストよ、
 神なる主、神の小羊、父のみ子よ、
 世の罪を取り除く主よ、いつくしみをわたしたちに。
 世の罪を取り除く主よ、
 わたしたちの願いを聞き入れてください。
 父の右に座しておられる主よ、いつくしみをわたしたちに。
 ただひとり聖なるかた、すべてを越える唯一の主、
 イエス・キリストよ、
 聖霊とともに 父なる神の栄光のうちに。
 アーメン。

607 ミサ曲A

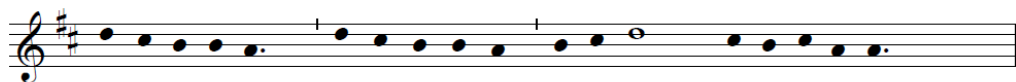
栄光の賛歌（グロリア）

Kyrie VIII参照

詞・曲 CBCJ



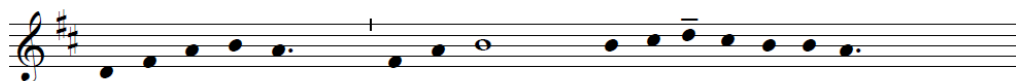
天には かみに えいこう、 地には み心に かなうひとに へい和。



かみなる主、 てんのおう、 ぜん能の父なるかみよ。



わたしたちは主をほめ、 主をたたえ、 主をおがみ、



主をあがめ、 主の大いなる えいこうの ゆえに

かん謝をささげます。主なる御ひとり子、

イエス・キリストよ、かみなる主、かみの小ひつじ、

ちちのみ子よ、世の罪を取り除く主よ、

いくしみをわたしたちに。世の罪を取りのぞく主よ、

わたしたちのねがいを聞き入れてください。ちちのみぎに座して

おられる主よ、いくしみをわたしたちに。

ただひとりせいなるかた、すべてを越えるゆいいつの主、

イエス・キリストよ、せい霊とともにちちなるかみの

えいこうのうちに。ア—メ—ン。

◆ 集会祈願

☆（「聖書と典礼」のしおりを参照）

ことばの典礼

「聖書と典礼」のしおりを参照)

☆ (会衆着席)

◆ 第一朗読

朗読者 神のみことば。

会衆 神に感謝。

(短い沈黙のひとつときをとる)

◆ 答唱詩編

◆ 第二朗読

朗読者 神のみことば。

会衆 神に感謝。

(短い沈黙のひとつときをとる)

◆ アレルヤ唱(詠唱)

☆ (会衆起立)

◆ 福音朗読

司祭 主は皆さんとともに。

会衆 また あなたとともに。

司祭 ○○○による福音。

会衆 主に栄光。(自分の額、口、胸に十字架のしるしをする)

司祭 主のみことば。

会衆 キリストに賛美。

☆ (会衆着席)

◆ 説教

(短い沈黙のひとつときをとる)

◆ 信仰宣言(クレド・「使徒信条」)

☆ (会衆起立)

司祭 天地の創造主、

会衆 全能の父である神を信じます。

父のひとり子、

わたしたちの主イエス・キリストを信じます。

主は聖霊によってやどり、

おとめマリアから生まれ、

ポンティオ・ピラトのもとで苦しみを受け、

十字架につけられて死に、葬られ、陰府に下り、

三日目に死者のうちから復活し、

天に昇って、

全能の父である神の右の座に着き、
生者と死者を裁くために来られます。
聖霊を信じ、聖なる普遍の教会、
聖徒の交わり、罪のゆるし、からだの復活、
永遠のいのちを信じます。アーメン。

「ニケア・コンスタンチノーブル信条」

司祭 わたしは信じます。
会衆 唯一の神、全能の父、天と地、見えるもの、見えないもの、
すべてのものの造り主を。わたしは信じます。
唯一の主イエス・キリストを。
主は神のひとり子、すべてに先立って父より生まれ、
神よりの神、光よりの光、まことの神よりのまことの神、
造られることなく生まれ、父と一体。
すべては主によって造られました。
主は、わたしたち人類のため、
わたしたちの救いのために天からくだり、聖霊によって、
おとめマリアよりからだを受け、人となりました。
ポンティオ・ピラトのもとの、
わたしたちのために十字架につけられ、苦しみを受け、葬られ、
聖書にあるとおり三日目に復活し、天に昇り、
父の右の座に着いておられます。
主は、生者と死者を裁くために栄光のうちに再び来られます。
その国は終わることがありません。
わたしは信じます。主であり、いのちの与え主である聖霊を。
聖霊は、父と子から出て、父と子とともに礼拝され、
栄光を受け、また預言者をとおして語られました。
わたしは、聖なる、普遍の、使徒的、唯一の教会を信じます。
罪のゆるしをもたらず唯一の洗礼を認め、
死者の復活と来世のいのちを待ち望みます。アーメン。

◆ 共同祈願（信者の祈り）

☆（「聖書と典礼」のしおりを参照）

☆（会衆着席）

感謝の典礼

◆ 奉納の歌と奉納行列

◆ パンを供える祈り

司祭 神よ、あなたは万物の造り主、
ここに供えるパンはあなたからいただいたもの、
大地の恵み、労働の実り、
わたしたちのいのちの糧となるものです。

会衆 神よ、あなたは万物の造り主。

◆ ぶどう酒の準備

◆ カリスを供える祈り

司祭 神よ、あなたは万物の造り主、
ここに供えるぶどう酒はあなたからいただいたもの、
大地の恵み、労働の実り、
わたしたちの救いの杯となるものです。

会衆 神よ、あなたは万物の造り主。

◆ 清め

◆ 祈りへの招き

☆（会衆起立）

司祭 皆さん、ともにささげるこのいけにえを、
全能の父である神が受け入れてくださるよう祈りましょう。

会衆 神の栄光と賛美のため、
また わたしたちと全教会のために、
あなたの手を通しておささげるいけにえを、
神が受け入れてくださいますように。

◆ 奉納祈願

司祭 ……わたしたちの主イエス・キリストによって。

会衆 アーメン。

奉献文（エウカリスティアの祈り）

◆ 叙唱前句

司祭 主は皆さんとともに。
会衆 また あなたとともに。
司祭 心をこめて、
会衆 神を仰ぎ、
司祭 賛美と感謝をささげましょう。
会衆 それはとうとい大切な務め（です）。

叙唱前の対話句

会衆
主はみなさんとともに。 またあなたとともに。

司祭
こころをこめて、 かみをあおぎ、

会衆
さんびとかんしゃをささげましょう。 それはとうといたいせつなつとめ。

◆ 叙唱

司祭 聖なる父、全能永遠の神、・・・
・・・終わりにほめ歌います。

◆ 感謝の賛歌（サンクトゥス）

先唱 聖なる、

会衆 聖なる、聖なる神、すべてを治める神なる主。

主の栄光は天地に満つ。

天には神にホザンナ。

主の名によって来られるかたに賛美。

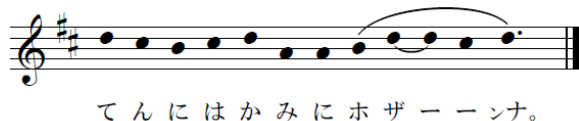
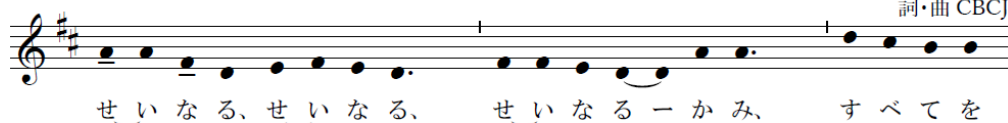
天には神にホザンナ。

608 ミサ曲A

感謝の賛歌（サンクトゥス）

Kyrie IX参照

詞・曲 CBCJ



- ◆ 第一奉献文 いつくしみ深い父よ、・・・ (12ページ)
- ◆ 第二奉献文 まことに聖なる神、・・・ (15ページ)
- ◆ 第三奉献文 まことに聖なる父よ、・・・ (17ページ)

第一奉献文（ローマ典文）

司祭 いくつしみ深い父よ、
御子わたしたちの主イエス・キリストによって、
いまつつしんでお願いいたします。
この汚れのない聖なるささげものを受け入れ、✠祝福してください。

わたしたちは、まず聖なる普遍の教会のために、
これをあなたにささげます。
全世界に広がる教会に平和を与え、これを守り、
一つに集め、治めてください。
教皇〇〇〇〇、わたしたちの司教〇〇〇〇、
また、使徒からの普遍の信仰を正しく伝える
すべての人のためにこの供えものをささげます。

◆ 生者のための祈り

聖なる父よ、あなたに信頼する人々（〇〇〇〇）を
心に留めてください。

また、ここに集うすべての人を心に留めてください。
その信仰と敬虔な心をあなたはご存じです。
わたしたちとすべての親しい人々のために
この賛美のいけにえをささげ、
あがないと救いと平穩を願って、
永遠のまことの神、あなたに祈ります。

全教会の交わりの中で、
わたしたちはまず、神である主イエス・キリストの母、
栄光に満ちた終生おとめマリアを思い起こし、
聖ヨセフ、
使徒と殉教者、ペトロとパウロ、アンデレ、
そして、すべての聖人を思い起こします。彼らのいさおしと取り次ぎに
よって、わたしたちをいつも守り強めてください。
（わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。）

聖なる父よ、わたしたち奉仕者とあなたの家族の
この奉献を受け入れてください。
あなたの平和を日々わたしたちに与え、
永遠の滅びから救い、選ばれた者の集いに加えてください。

神よ、この供えものを祝福し、受け入れ、
み心にかなう まことのいけにえとしてください。
わたしたちのために、最愛のひとり子、
主イエス・キリストの御からだと 御血になりますように。

主イエスは受難の前夜、聖なる手にパンを取り、
全能の父、神であるあなたを仰ぎ、賛美と感謝をささげ、裂いて、
弟子に与えて仰せになりました。

「皆、これを取って食べなさい。
これは あなたがたのために渡される
わたしのからだ（である）。」

☆（会衆は司祭とともに 合掌して深く礼をする。）

食事の後に同じように、聖なる手に、このとうとい杯を取り、
賛美と感謝をささげ、弟子に与えて 仰せになりました。

「皆、これを受けて飲みなさい。
これは わたしの血の杯、
あなたがたと 多くの人のために流されて
罪のゆるしとなる 新しい永遠の契約の血（である）。
これをわたしの記念として行いなさい。」

☆（会衆は司祭とともに 合掌して深く礼をする。）

◆ 記念唱（アナムネシス）

司祭 信仰の神秘。

会衆 十字架と復活によって
わたしたちを解放された世の救い主、
わたしたちをお救いください。

記念唱

会衆



信 仰 の し ん び。 じゅうじかとふっかつによってわたしたちをかいほう
され た 世 の す ぐ い め し、 わ た し た ち を お す ぐ い く だ さ い。

司祭 聖なる父よ、わたしたち奉仕者と聖なる民も、
いま、御子わたしたちの主キリストのとうい受難、
死者のうちからの復活、栄光に満ちた昇天を記念し、
あなたが与えてくださった たまものの中から、
清く、聖なる、汚れのないいけにえ、
永遠のいのちのパンと救いの杯を、
栄光の神、あなたにささげます。

このささげものをいつくしみ深く顧み、
快く受け入れてください。

義人アベルの供えもの、太祖アブラハムのいけにえ、
また、大祭司メルキセデクが供えた聖なるささげもの、
汚れのない いけにえを受け入れてくださったように。

全能の神よ、つつしんでお願いいたします。

このささげものをみ使いによって、
あなたの栄光に輝く祭壇に運ばせてください。

いま、この祭壇で、
御子の聖なるからだと血にあずかるわたしたちが、
天の祝福と恵みで満たされますように。

(わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。)

◆ 死者のための祈り

聖なる父よ、
信仰をもってわたしたちに先だち、
安らかに眠る人々（〇〇〇〇）を心に留めてください。

神よ、この人々とキリストのうちに眠りについたすべての人に、
慰めと光と安らぎをお与えください。

(わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。)

あなたの豊かなあわれみに信頼する罪深いわたしたちを、
使徒と殉教者の集いに受け入れてください。
洗礼者ヨハネ、ステファノ、マチア、バルナバ、
そして、すべての聖人にならう恵みを、
わたしたちの行いによるのではなく、
あなたのあわれみによってお与えください。

聖なる父よ、
キリストによって、あなたはつねに このよいものを造り、
聖なるものとし、これにいのちを与え、祝福し、
わたしたちに与えてくださいます。

◆ 栄唱（19ページ）

第二奉献文

司祭 まことに聖なる神、すべての聖性の源である父よ、
いま、聖霊を注ぎ、この供えものを聖なるものとしてください。
わたしたちのために、
主イエス・キリストの御からだと✠ 御血になりますように。

主イエスはすすんで受難に向かう前に、パンを取り、
感謝をささげ、裂いて、弟子に与えて仰せになりました。

「皆、これを取って食べなさい。
これはあなたがたのために渡される
わたしのからだ(である)。」

☆(会衆は司祭とともに 合掌して深く礼をする。)
食事の後に同じように杯を取り、
感謝をささげ、弟子に与えて仰せになりました。

「皆、これを受けて飲みなさい。
これはわたしの血の杯、
あなたがたと多くの人のために流されて
罪のゆるしとなる新しい永遠の契約の血(である)。
これをわたしの記念として行いなさい。」

☆(会衆は司祭とともに 合掌して深く礼をする。)

◆ 記念唱 (アナムネシス)

司祭 信仰の神秘。

会衆 十字架と復活によって
わたしたちを解放された世の救い主、
わたしたちをお救いください。

記念唱

信 仰 の し ん び。 じゅうじかとふっかつによってわたしたちをかいほう
された世のすくいぬし、わたしたちをおすくいください。

司祭 聖なる父よ、

わたしたちはいま、主イエスの死と復活の記念を行い、
み前であなたに奉仕できることを感謝し、
いのちのパンと救いの杯をささげます。
キリストの御からだと御血にともにあずかるわたしたちが、
聖霊によって一つに結ばれますように。

世界に広がるあなたの教会を思い起こし、
教皇〇〇〇〇、わたしたちの司教〇〇〇〇、
すべての奉仕者とともに、
あなたの民をまことの愛で満たしてください。

◆ 死者のための祈り

(きょう)この世からあなたのもとに召された
〇〇〇〇 (名)を心に留めてください。
洗礼によってキリストの死に結ばれた者が、
その復活にも結ばれますように。

また、復活の希望をもって眠りについた
わたしたちの兄弟姉妹と、
あなたのいつくしみのうちに亡くなったすべての人を
心に留め、あなたの光の中に受け入れてください。

いま、ここに集うわたしたちをあわれみ、
神の母おとめマリアと聖ヨセフ、
使徒とすべての時代の聖人とともに、
永遠のいのちにあずからせてください。

御子イエス・キリストを通して、
あなたをほめたたえることができますように。

◆ 栄唱 (19ページ)

第三奉献文

司祭 まことに聖なる父よ、
造られたものはすべて、あなたをほめたたえています。
御子わたしたちの主イエス・キリストを通して、
聖霊の力強い働きにより、すべてにいのちを与え、聖なるものとし、
たえず人々をあなたの民としてお集めになるからです。
日の昇る所から日の沈む所まで、
あなたに清いささげものが供えられるために。

聖なる父よ、あなたにささげるこの供えものを、
いま、聖霊によって聖なるものとしてください。
御子わたしたちの主イエス・キリストの
御からだと✠御血になりますように。

キリストのことばに従って、いま、わたしたちはこの神秘を祝います。
主イエスは渡される夜、パンを取り、
あなたに賛美と感謝をささげ、裂いて、
弟子に与えて仰せになりました。

「皆、これを取って食べなさい。
これはあなたがたのために渡される
わたしのからだ(である)。」

☆(会衆は司祭とともに 合掌して深く礼をする。)

食事の後に同じように杯を取り、あなたに賛美と感謝をささげ、
弟子に与えて仰せになりました。

「皆、これを受けて飲みなさい。
これはわたしの血の杯、
あなたがたと多くの人のために流されて
罪のゆるしとなる新しい永遠の契約の血(である)。
これをわたしの記念として行いなさい。」

☆(会衆は司祭とともに 合掌して深く礼をする。)

◆ 記念唱(アナムネシス)

司祭 信仰の神秘。

会衆 十字架と復活によって
わたしたちを解放された世の救い主、
わたしたちをお救いください。

記念唱

会衆



信 仰 の し ん び。 じゅ う じ か と ふ っ か つ に よ っ て わ た し た ち を か い ほう
さ れ た 世 の す く い ぬ し、 わ た し た ち を お す く い く だ さ い。

司祭 聖なる父よ、
わたしたちはいま、
御子キリストの救いをもたらず受難、復活、昇天を記念し、
その再臨を待ち望み、
いのちに満ちたこの聖なるいけにえを感謝してささげます。
あなたの教会のささげものを顧み、
まことの和解のいけにえとして認め、受け入れてください。
御子キリストの御からだと御血によってわたしたちが養われ、
聖霊に満たされて、キリストのうちに、
一つのかからだ、一つの心となりますように。

聖霊によってわたしたちを、
あなたにささげられた永遠の供えものとしてください。
選ばれた人々、神の母おとめマリアと聖ヨセフ、
使徒と殉教者、(聖〇〇〇〇)
すべての聖人とともに神の国を継ぎ、
その取り次ぎによってたえず助けられますように。

わたしたちの罪のゆるしとなるこのいけにえが、
全世界の平和と救いのためになりますように。

地上を旅するあなたの教会、 教皇〇〇〇〇、
わたしたちの司教〇〇〇〇、
司教団とすべての奉仕者を導き、
あなたの民となったすべての人の信仰と愛を強めてください。
あなたがここにお集めになったこの家族の願いを
聞き入れてください。
いつくしみ深い父よ、
あなたの子がどこにいても、
すべてあなたのもとに呼び寄せてください。

◆ 死者のための祈り

亡くなったわたしたちの兄弟姉妹、
また、み旨に従って生活し、いまはこの世を去った
すべての人を、あなたの国に受け入れてください。
わたしたちもいつかその国で、
いつまでもともにあなたの栄光にあずかり、
喜びに満たされますように。
わたしたちの主イエス・キリストを通して、
あなたはすべてのよいものを世にお与えになります。

(きょう、)この世からあなたのもとに召された
〇〇〇〇を心に留めてください。
洗礼によってキリストの死にあずかった者が、
その復活にもあずかることができますように。
キリストは死者を復活させるとき、
滅びゆくわたしたちのからだを、
ご自分の栄光のからだに変えてくださいます。
また、亡くなったわたしたちの兄弟姉妹、
み旨に従って生活し、いまはこの世を去ったすべての人を、
あなたの国に受け入れてください。
わたしたちもいつかその国で、いつまでも
ともにあなたの栄光にあずかり、喜びに満たされますように。
そのときあなたは、わたしたちの目から涙をすべてぬぐい去り、
わたしたちは神であるあなたをありのままに見て、
永遠にあなたに似るものとなり、
終わりなくあなたをたたえることができるのです。
わたしたちの主イエス・キリストを通して、
あなたはすべてのよいものを世にお与えになります。

◆ 栄唱

司祭 キリストによってキリストとともにキリストのうちに、
聖霊の交わりの中で、
全能の神、父であるあなたに、
すべての誉れと栄光は、
世々に至るまで、

会衆 アーメン。

交わりの儀（コムニオ）

◆ 主の祈り

司祭 主の教えを守り、みことばに従い、
つつしんで主の祈りを唱えましょう。

会衆 天におられるわたしたちの父よ、
み名が聖とされますように。
み国が来ますように。
みこころが天に行われるとおりに、
地にも行われますように。
わたしたちの日ごとの糧を今日もお与えください。
わたしたちの罪をおゆるしてください。
わたしたちも人をゆるします。
わたしたちを誘惑におちいらせず、
悪からお救いください。

◆ 副文

司祭 いつくしみ深い父よ、すべての悪からわたしたちを救い、
世界に平和をお与えください。
あなたのあわれみに支えられて、罪から解放され、
すべての困難に打ち勝つことができますように。
わたしたちの希望、救い主イエス・キリストが
来られるのを待ち望んでいます。

会衆 国と力と栄光は、永遠にあなたのもの。

◆ 教会に平和を願う祈り

司祭 主イエス・キリスト、あなたは使徒に仰せになりました。
「わたしは平和を残し、
わたしの平和をあなたがたに与える。」
主よ、わたしたちの罪ではなく、教会の信仰を顧み、
おことばのとおり教会に平和と一致をお与えください。
あなたはまことのいのち、
すべてを導かれる神、世々とこしえに。

会衆 アーメン。

◆ 平和のあいさつ

司祭 主の平和がいつも皆さんとともに。

会衆 また あなたとともに。

司祭 互いに平和のあいさつをかわしましょう。

☆（一同は平和と一致と愛を示すために、手を合わせ、
「主の平和」と言つて互いに礼をする。）

◆ 平和の賛歌

先唱 世の罪を取り除く神の小羊、

会衆 いつくしみをわたしたちに。

先唱 世の罪を取り除く神の小羊、

会衆 いつくしみをわたしたちに。

先唱 世の罪を取り除く神の小羊、

会衆 平和をわたしたちに。

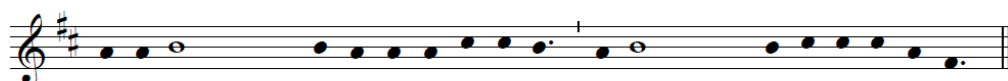
609 ミサ曲A 平和の賛歌（アニユス・デイ）

Kyrieale XVI参照

詞・曲 CBCJ



世のつみを取り除くかみの小ひつじ、いつくしみをわたしたちに。



世の罪を取り除くかみの小ひつじ、いつくしみをわたしたちに。



世のつみを取り除くかみの小ひつじ、へい和をわたしたちに。

◆ 拝領前の信仰告白

司祭 世の罪を取り除く神の小羊。

神の小羊の食卓に招かれた人は幸い。

会衆 主よ、わたしはあなたをお迎えするに
ふさわしい者ではありません。

おことばをいただくだけで救われます。

◆ 拝領

☆（会衆着席）

司祭 キリストの御からだ。

拝領者 アーメン。

◆ 拝領後の感謝

☆（拝領後、着席して沈黙のうちにしばらく祈る。）

◆ 拝領祈願

☆（会衆起立・「聖書と典礼」のしおりを参照ください）

司祭 ……祈りましょう。（しばらく沈黙のうちに祈る）

……わたしたちの主イエス・キリストによって。

会衆 アーメン。

閉祭

◆ お知らせ

☆（会衆着席）

◆ 派遣の祝福

☆（会衆起立）

司祭 主は皆さんとともに。

会衆 また あなたとともに。

司祭 全能の神、父と子と聖霊の祝福が✠
皆さんの上にありますように。

会衆 アーメン。

◆ 閉祭のあいさつ

司祭 感謝の祭儀を終わります。

行きましょう、主の平和のうちに。

会衆 神に感謝。

◆ 閉祭の歌

◆ 退堂

聖堂内のマナー（要約）

1. 基本的なこと

- 聖堂は神聖な場所・祈りの場所であることを常に意識し、この場所にふさわしい行動をしてください。
- 私語を慎み、静粛にお願いします。
- 携帯電話の電源は切ってください。
- 聖堂内の設備に触らないようにしてください。勝手に照明を点灯したり、冷暖房をつけたり消したりしないように。
- 飲食や喫煙は禁止です。
- 正面玄関の扉以外は、勝手に開閉しないでください。
- 聖堂の正面の段が設けられて高くなっている場所は「内陣」と呼ばれています。祭壇及び朗読台などが配置され、ここを中心として祭儀が執り行われます。また、右側に聖櫃が設置され、キリストの御聖体が安置されています。聖堂の中で最も聖なる場所です。
内陣は、司祭と典礼奉仕者、また特別に許可された人以外、立入り禁止です。絶対に入らないように。
- 祈りをささげている方の妨げにならないように、配慮しましょう。

2. 服 装

- 神聖な場所にふさわしい服装を心がけましょう。
- 特別な服装は必要ありませんが、極端に短いスカートやノースリーブなどは、ご遠慮ください。
- 男性は、帽子を取ってください。

3. 聖水盤

- 出入口の右側に聖水（祝別された水）があります。聖堂に出入りする際に、信者は、指にこの聖水をつけて十字架のしるしをします。

4. ミ サ

- すべての人々がキリストに招かれていますので、ミサや他の儀式には、信者以外の方も、参加することができます。
- ミサの中で行われる聖体拝領（キリストの体となっている小さな白いパンを受ける儀式）は、洗礼を受けたカトリック信者に限られています。心の準備のできた信者以外は、御聖体を受けてはなりません。
- 聖体拝領ができない方は、どなたでも司祭の祝福を受けることができます。祝福をご希望の方は、他の人と一緒に並んで、手を合わせたまま、司祭の前に進んでください。「祝福をお願いします」と、司祭に告げてください。



カトリック吉祥寺教会

〒180-0005 東京都武蔵野市御殿山1-7-8

tel: 0422-44-0181 fax: 0422-44-0180

ウェブサイト : <https://svdtokyo.jp/>



ミサ次第 online:
THE ORDER OF MASS online:
LITURGIA DA MISSA online:
Nghi Thức Thánh Lễ online:



<https://lumen-christi.com/mass>